

## 陳情調書

(件名) 県立総合体育館(スポーツ・コンベンションセンター)について

(陳情の要旨)

私は本年3月、両親の健康状態のこともあり、家族で鹿児島市から湧水町へ異動しました。自然豊かな環境での子育て、両親を身近でサポートできる点は満足していますが、同時に地方移住の厳しさも感じています。湧水町は鹿児島市内に比べ、過疎化が著しく、働く場にも限りがあり、これまで培った知識や経験を活かした職種につけず、想定以上に厳しい現実です。また休日に利用できる子育て支援施設がなく、子育てのハードルは高くなりました。

さて、先般掲題のセンターにつき、人々が集う新たな場の完成は待ち遠しい一方、そういった素晴らしい建設物がまた鹿児島市に建設されることは、鹿児島市外の県居住者として、不平等も感じます。鹿児島市以外への異動では機会の損失は避けられないとは理解しつつも、今回ドルフィンポート跡地への建設は、地方在住者としては利点を感じられなかったため、建設地の再考を求め、下記事項を陳情いたします。

記

1. 建設地の再考

ドルフィンポート跡地への設置が検討されるなか、県北居住者にとっては利便性のよいエリアとは言えません。電車やバスでは乗り継ぎが多く、自家用車では高速道路を使ってもどの出口からも遠く、それを避ければ国道10号線の渋滞です。

また、駐車場についても、ドルフィンポート跡地周辺は既存の施設が多いため、新たな計画で整備されたとしても駐車スペースの確保は難しいと考えられます。

鹿児島市・天文館エリアはすでに観光客に認知されており、多様な施設も多く立ち並びます。そこへ、また新たな施設を建設するという事は、生じる利益の多くは隣接する地域だけに留まってしまわないでしょうか。経済・雇用の観点からも、地方あるいは過疎地域への建設が望ましいと考えます。

そこで、鹿児島県の中央に位置する霧島市の臨空団地への設置を要望いたします。

臨空団地は県所有地であり、膨大な敷地には施設本体はもちろん、駐車場の配置に関しても問題ないと考えます。高速道路の出入口が近く、鹿児島空港にもほど近いこと、交通手段の利便性も格段に向上します。国際線が隣接していることから、これまで苦勞していた全国・国際試合や大規模な公式試合などの誘致に関しても解消されると思います。交通や開催の費用においても選手や主催者の負担軽減に繋がるのではないのでしょうか。全国・世界レベルのスポーツイベントを実施しやすくなることで、子どもたちが夢や希望を持つ機会を増やし、鹿児島県のスポーツレベル向上に繋がると考えます。

また、新たな開発域として県内外から注目を集め、雇用を生み出し、過疎化に歯止めをかけられるのではないのでしょうか。(企業誘致やホテルや飲食店などの新たな建設物→雇用増による税収アップ→地方活性化・若者の定住率アップ→過疎化への歯止め)

2. 多機能なセンターの建設

霧島市周辺には、休日にも利用できる子育ての支援センターはほぼありません。

そこで、新たに建設される施設には、日常的に使用できる支援センターの併設を要望いたします。

もちろん子育てだけでなく、より広い世代に向けての開設となれば、日常的に

活用され、多額の公費を投じる意味もあります。「観光県・鹿児島」としての県産の農作物や工芸品をアピールできる場の増加、新たな流通経路など、地方経済向上の足がかりにしていきたいです。加えて鹿児島空港から直行できる会議室の設置など、ビジネスでも常に使われる建物としての機能を追加してください。

この建設だけで地方が潤うとは思いません。しかし、過疎地域及び公共施設の少ないエリアに建設されることにより、人や経済の流れにより刺激が生じると予想し、また期待します。地方在住であっても、子どもたちが多くの学びや体験を持つことができ、若者が働きやすく、高齢者を含む家族が安全で快適に暮らせる環境を整えるべく、建設地の再考をよろしくお願いいたします。